



創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：岩田 修司
 幹事：堀 慎治
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ビルトン名古屋

事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ビルトン名古屋910号
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760.nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014～2015年度
 国際ロータリーのテーマ
 LightUp Rotary
 ロータリーに輝きを

2014～2015年度
 国際ロータリー第2760地区
 ガバナーのテーマ
 集まるう・語るう・楽しもう

2014～2014年度
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
 感謝の気持ちを持って、
 ロータリーライフを楽しもう

第1699回例会

～ロータリー親睦活動月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2015年6月11日(木) 曇り/雨 第46回

司会：佐治寛行会場委員

斉唱：「我等の生業」

ゲスト：前 公益財団法人暴力追放愛知県民会議専務理事
 井口弘造さん

会長挨拶

岩田修司会長

ダーウィンの進化論についてお話をしたいと思えます。皆さんご存知の様に、進化論の基本は弱肉強食や生存競争の中で生き残る生物が数千万年から数億年かけて自然に形が変わっていくという考え方です。例えば、魚が生存の為に陸の方へ進出し、何億年後には自然に足が生えてきたという理論でございいます。以前、小泉元総理が在任中「最も強いものが生き残るのではなく、また最も賢いものが生き延びるものでもなく、唯一生き残る事が出来るのは、状況に応じて変化出来るものである」というダーウィンの進化論を例に挙げて仰った事がありました。しかし、ダーウィンの種の起源のどこを探してもこの記述は出てこないようであります。多分、後世の人が付け加えた言葉ではないかと思えます。それにしても大変いい言葉だと思えますが、ダーウィンの進化論は誤りだという事が最近研究者の間で言われるようになっております。



私達は中学・高校の教科書で、進化論としてサルが猿人に、そして猿人がやがて人間になるという風に習った訳であります。アウストラロピテクス、ジャワ原人、北京原人、ネアンデルタール人、クロマニヨン人、これらの名前は聞かれた事があると思えます。アウストラロピテクスはこれまではサルとヒトの間である猿人と主張されてきました。しかし、今ではサルやゴリラに似た動物の一種で、昔絶滅したものであるという事が複数の人類学者の調査で分かってきた様であります。また、ジャワ原人も実態のないものである事が分かっているようです。北京原人は今ではヒトとサルの骨がごちゃ混ぜになっていたものと見る科学者も少なくありません。何故なら、中国ではサルの脳みそを食べる習慣があり、人とサルの骨が一緒に見つかる事が北京ではよくあるとの事であります。ネアンデルタール人は、進化論では前かがみで歩いている猿人のように紹介されていますが、それは全くの誤りで、ネアンデルタール人の骨は複数見つっていますが、それらはどれも完全な直立歩行をしていた事を示しています。しかも、脳の容積が現代人より多少大きかったとさえ言われており、衣服を持ち、死者の埋葬や献花の習慣まであったとの事です。また、クロマニヨン人も同様に猿人ではなく人間であった事が分かっています。

クロマニヨン人は、一般に少し頑丈で、また筋肉が発達している点を除けば、現代人と区別出来ないそうでございます。この様に考えますと、サルが進化して人間になった訳ではなく、最初からサルはサルで、人間は人間であった事が分かってきたのではないかという事です。また、チンパンジーですが、今まで人間と遺伝子の配列が約1%しか差がないとされておりましたが、最近の研究では、ヒトとチンパンジーの遺伝子は83%も違うという事実が分かったそうでございます。

ニコボックス

山本英雄ニコボックス委員長

- 村上さんをお迎えて。昨日岐阜美濃GC17番ホールでホールインワンをしました。50年間保険をかけ続けた甲斐がありました。 **内田 久利さん**
- 内田さんホールインワンお見事!!サンバウ口疲れました。 **鈴木 淑久さん**
- 昨日、内田さんが岐阜美濃GC17番170ヤードでホールインワンを達成しました。おめでとう。ついでに、6月13日は68回目の誕生日です。

松波 恒彦さん

- 6月26日誕生日です。1年は早いものです。 **長坂 邦雄さん**
- 内田さん、おめでとうございます。村上さん、名古屋瑞穂RCによろこそ。

湯澤 信雄さん

- 内田さんホールインワンおめでとうございます。大パーティー、イェーイ。

大嶽 達郎さん

- 本日の卓話を暴力追放愛知県民会議の前・専務理事の井口弘造様にお願いしましたところ、ご快諾いただきありがとうございました。 **鈴木 圓三さん**
- 井口さん、本日は卓話をして頂き、ありがとうございます。 **田中 宏さん**
- 5月25日より転居しました。宜しく願います。 **平野哲始郎さん**
- これから宜しく願ひ致します。 **中野 健二さん**
- 先日、伊藤豪さんにお世話になりました。ありがとうございました。

梅村 昌孝さん

出席報告

山本英雄出席委員長

会員68名 出席42名 (出席計算人数48名)

出席率 70.0%

5月21日は補填により 90.9%

幹事報告

梅村昌孝副幹事

- 6月18日(木)第5回CF(次年度行事予定)を行います。
- ネパール地震災害支援義援金は48,000円を送金致しました。

新会員入会式



新会員入会式にてバッジとネームプレートが新会員に渡されました。

バッジはロータリアンの誇りと奉仕をさせて頂く謙虚な気持ちを着用する証です。名札は会員、ビジター、ゲストの皆さんに名前を覚えて頂くのに役立ちます。

本日、名古屋瑞穂RCに入会致しました。20代の頃は東海ローターアクトクラブに所属しており、懐かしい気持ちで例会に出席しております。早く皆様に覚えて頂けますように、一生懸命参加しますので、お願いします。

卓話 前 公益財団法人暴力追放愛知県民会議専務理事 井口弘造さん

暴力団の資金獲得活動の現状について

昨今、暴力団は減少傾向にあります。全国的には、昨年末に警察庁が発表した数としては53500人、愛知県下におきましては組の数は114組、暴力団員2749人が警察が昨年度末まで把握している数字でございます。東海3県



は大変静かでありまして、拳銃使用等の組対立抗争事件もここ数十年発生は見られず、暴力団特有の殺人事件などの犯罪もこのところ激減しているという状況です。全国的に見ますと、九州の福岡では暴力団が跡目相続を巡って対立抗争を継続していました。さらに、北九州には警察の警告、指導は全く聞かない最も攻撃的な暴力団もあります。長年に亘り暴力団排除に活躍する市民の方、暴力団からの資金援助を拒否した企業の経営者に対して手榴弾、火炎瓶で攻撃をする組織であります。そんな福岡も昨年までに静かになってきております。北九州市も全国の警察が応援に行き、昨年までに上層部を全て逮捕したという事があるためです。

先程述べましたように、暴力団が減っている事は事実ではありますが、やめた後どのように彼らが生活をしているかという事は、警察も追跡をしていないので分からないというのが実態であります。

ご存知のように、暴力団対策法の相次ぐ一部改正や、反社会的勢力による被害を防止するための指針が平成19年に発出されました。この指針の一番の要点は暴力団との関係遮断という事です。以前ですと、危険な会社だと企業側が思っても、儲かる話があるので契約をすることがありました。暴力団も使いようによっては便利なところがあると、これを承知の上で使っていた訳です。それではいけないという事で、初めて政府が企業に向けて、暴力団を中心とする反社会勢力とは関係を遮断するように指針を出しました。関わった企業に対しては、ペナルティーを科すということになります。指針は法律ではないので拘束力はありませんが、特に金融関係については検査の対象になり、指針通り運用しているかという事で検査で引っかかるという場合もあり、大変大きな力を持ってきています。

平成23年4月には愛知県暴力団排除条例が施行されました。その翌年には全ての市町村において同様の条例が施行となり、この条例の中にも一切の関係遮断を盛り込んでおります。また、暴力団の活動を助長したり、契約をしてはいけないということも条例で謳っております。そういった効果や、法令、警察の強力な取締りもありますが、油断は出来ません。暴力団は減ってはおりますが、大量に減った訳ではありません。

どうして暴力団は減らないかという事ですが、1つ目には未だに持ちつ持たれつとの関係を維持している所が多いことにあります。よく言うフロント企業や、密接関連企業が資金援助をしているものもあります。用心棒も条例で禁止されたにも関わらず、いまだに付き合いを継続していることが多くあります。断ると何をされるか分からない、攻撃が来るのではないかといった、暴力団が怖いという意識がある方が随分いるのではないかと思います。

自ら用心棒代を拒否出来ない、暴力団に対して企業側から資金援助をするなど、自ら訴える方が少ないという残念な状況もあるわけです。

2つ目には消極的ではありますが、暴力団を容認する風潮、土壌といったものがあります。例えば、商店街や住宅街に暴力団事務所があったとしても声高に反対運動をする人はいないということでもあります。暴力団事務所での騒ぎがあれば住民も訴え出るかも知れませんが、何も無い状況においては反対運動を起こす住民もいません。難しい面もありますが、消極的であるにせよ仕方がないということで容認しているということでもあります。

3つ目には暴力団に憧れる者がいるということがあり、これは特に少年、暴走族であります。私が在籍した県民会議は、2つの少年院に年4回訪ねています。少年に対して教官からアンケートを採って頂き、すでに暴力団に入っている者、付き合いがある者、暴力団の事務所に入った事のある者をピックアップして個々面接を行い、離脱を促しております。少年院に入ってきた者には、すでに親分から杯をもらっている者や、入れ墨を全身に入れている者もいます。特に愛知少年院生の4割近くは暴力団との何らかの付き合いがあるという現状です。暴力団そのものも高齢化しておりますので、元気な若者を勧誘しているのが実態であり、特に暴走族からは相当な数が入っている現状があります。

本日の命題についてですが、暴力団の資金活動は手広く、今や彼らが参入していない業種はないとも言われております。覚醒剤や恐喝等の犯罪を行う事はご存知の通りではありますが、出来るだけ刑務所に入りたくないという事で、犯罪すれすれの所で資金を得るローリスクのハイリターン集団でもあります。一切捕まらずに資金を獲得するにはどうすればいいかという事で、自ら経営者に乗りだします。以前は登記簿で調べると組の名前が出てきましたが、今は登記簿を調べても一切出てこず、分からない時代となってきております。業種は多種に亘っているため、なかなか把握出来ないのが現実です。

特に彼らが今最も力を入れているのが証券であります。証券を基としている組が、マンションを改装してトレーダーのプロに高額を与えて雇い、ディスプレイを12台置いてトレードをさせる様子がメディアで公開されました。また、犯罪で得た金とまともな金を一緒にして一時どこかに預け、マネーロンダリング・資金浄化をした後に、次の犯罪に使用します。さらに、預け先と予想される、租税回避地にあるファンドで資金を膨らませているという事も言われております。彼らの資金源は相当額に及ぶということが予想がつくわけです。

最後に、先程申し上げました政府指針では、彼らのアプローチがあった時は組織で対応せよとなっております。彼らは脅しのプロなわけですから、どんな優秀な社員であっても1対1では100%負けてしまいます。組織で対応策が出なければ、外部対策機関であります警察、県民会議、弁護士会に相談をすることです。何かあった時は泣き寝入りしない、必ず届け出をする。そして裏取引は絶対にしてはいけないという事です。

例会のご案内

- | | |
|--------|----------------------|
| ■今週の行事 | 6月18日(木) 第5回クラブフォーラム |
| | 内 容：次年度行事予定 |
| ■次週の行事 | 6月25日(木) 下期納会 |
| | 場 所：か茂免 |
| | 時 間：18:00~20:00 |
| ■次々週卓話 | 7月2日(木) |
| | テ ー マ：会長挨拶 |
| | 会 員 卓 話：伊藤豪さん |